

# 第2回 大村湾シンポジウム

## ～大村湾を診断する～

私たちの身近にある大村湾の自然（力）再生、湾沿岸地域の活性化を推進するため、シンポジウムでは、私たちが目指す方向性について議論するとともに、大村湾を次世代に伝えていくために、今何をしなければならないのか、皆様と一緒に考えていきます。

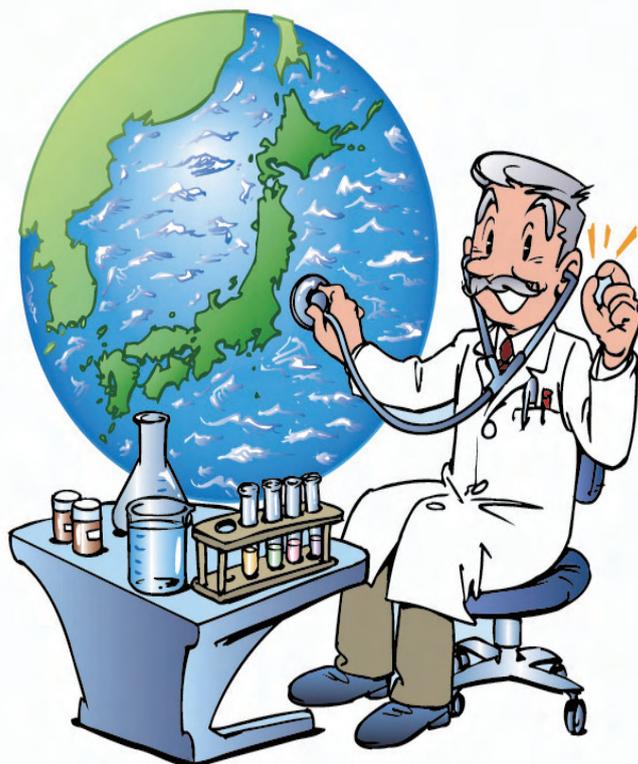
### 基 調 講 演

#### 「大村湾の健康診断:現状とこれから」

長崎大学大学院生産科学研究科長  
教授 中田 英昭 氏

#### ●プロフィール

長崎市生まれ。  
農学博士（東京大学） 専門分野は、水産海洋学・沿岸海洋学。  
東京大学海洋研究所助手、助教授を経て、  
2000年に長崎大学水産学部教授に着任。  
2004年から2008年まで長崎大学水産学部長。  
2008年より現職。  
長崎沿岸の海の環境に関する調査研究に取り組んでいる。



### パネルディスカッション

#### 「大村湾をどんな海にしたい？」

【コーディネータ】 広島大学名誉教授 松田 治 氏

【パネラー】 大村湾をきれいにする湾沿岸議員連盟事務局長 大崎 敏明 氏  
ハウステンボス(株) 大熊 豪 氏  
大村湾漁協組合長 松田 孝成 氏  
長崎大学大学院教授 中田 英昭 氏

■日 時：平成22年2月27日（土） 開場13時  
開演13時30分～16時30分

■会 場：大村市 郡地区公民館 多目的室

■参加費：無 料

●主 催：長崎県 海洋政策研究財団 (財)長崎県産業振興財団

●後 援：大村市 大村湾をきれいにする湾沿岸議員連盟  
大村湾をきれいにする会 大村湾海区漁業協同組合長会

シンポジウム会場：郡地区公民館  
大村市富の原2丁目382番地1



お問い合わせ先 長崎県科学技術振興課 TEL：095-895-2523  
(財)長崎県産業振興財団 TEL：0957-52-1138

パネルディスカッション「大村湾をどんな海にしたい？」  
コーディネータおよびパネラーのご紹介

【コーディネータ】

松田 治(まつだ おさむ)

広島大学名誉教授、海洋政策研究財団特別研究員、分野横断的研究グループ「瀬戸内海研究会議」会長  
専門は水圏環境学、水域物質循環論、陸域海域統合間理論など。

閉鎖性海域の環境管理や里海創生に関する活動に注力し、「英虞湾再生プロジェクト」では研究・技術・行政・住民の「つなぎ役」を務めた。南極観測越冬隊、北極観測、南北太平洋から熱帯マングローブ域までのフィールド・ワークや国際共同研究、公的委員の経験多数。

【パネラー】

大崎 敏明(おおさき としあき)

大村市議会議員、大村湾をきれいにする湾沿岸議員連盟事務局長

市議会にて、大村湾と人がふれあう場づくりや、川から流れ込む多量のゴミ処理についてなど、大村湾の環境対策に関する積極的な提言を行っている。

大村市議会で厚生委員会委員長、財政健全化特別委員会副委員長を務める。

大熊 豪(おおくま つよし)

ハウステンボス(株) アクティビティ部

青年海外協力隊のボランティアとして3年間、ボルネオ島(マレーシア)の国立公園で、昆虫園の仕事に携わった経験を持つ。長年、佐世保市の早岐瀬戸流域で生息するカブトガニ(方言名:ハチガシャ)の産卵活動を観察、修学旅行で訪れる小学生や、地域の小学生などに自然の大切さを提言している。

松田 孝成(まつだ たかしげ)

大村湾漁業協同組合 代表理事組合長

大村湾産の新鮮な魚介類を消費者に積極的にPRする活動やイベント実施、黒ナマコエキスを活用した石鯛の開発販売、また、各種セミナーにおいて閉鎖性海湾における漁業のあり方や環境修復に対する問題提起を行っている。

大村湾海区漁業協同組合長会会長、長崎県漁業協同組合連合会理事も務める。

参加申込 [財]長崎県産業振興財団 宛

FAX 0957-52-1140 【締切 2月24日(水)】

団体名・所属	お役職	お名前	連絡先 (TEL・e-mail)